

日本赤十字社一宮市地区  
地区長 中野正康

今後とも、皆さまのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

[illegible]



## 令和 5 年 日本赤十字社一宮市地区の主な事業報告

(令和 5 年 1 月 1 日～令和 5 年 12 月 31 日)

### ○災害義援金等の受付

※ 受付金額は受付開始から 12 月末までの総額

義援金・寄附金・救援金名	受付金額(円)	受付開始日
ウクライナ人道危機救援金	5,123,024	4 年 3 月 10 日
2023 年トルコ・シリア地震救援金	998,645	5 年 2 月 17 日
令和 5 年 5 月能登地方地震災害義援金 (石川県)	279,387	5 年 5 月 22 日
令和 5 年台風第 2 号等大雨災害義援金 (静岡県、茨城県、和歌山県、埼玉県)	173,744	5 年 6 月 20 日
令和 5 年 6 月 30 日からの大雨災害義援金 (山口県)	160,546	5 年 7 月 26 日
令和 5 年 7 月 7 日からの大雨災害義援金 (福岡県、佐賀県、大分県、島根県、秋田県、富山県)	158,117	5 年 8 月 1 日
令和 5 年台風第 6 号災害義援金 (沖縄県)	137,548	5 年 9 月 15 日
令和 5 年台風第 13 号災害義援金 (茨城県、福島県、千葉県)	13,214	5 年 9 月 27 日
令和 5 年度「NHK海外たすけあい」寄附金	144,025	5 年 12 月 1 日

#### 【ウクライナ、イスラエル・ガザ人道危機】

ウクライナや、イスラエル・ガザで激化している戦闘により、女性や子ども、高齢者を含む多くの一般市民の犠牲は拡大する一方で、人道状況は日に日に深刻度を増しています。

日本赤十字社は資金援助のほか、紛争各地に医療をはじめとする人的支援を継続しています。

#### 【2023 年トルコ・シリア地震】

2月6日、トルコ南東部のシリアとの国境付近でマグニチュード7を超える大きな地震が発生しました。地震による犠牲者は両国合わせて5万6千人、数十万棟もの建物が損壊しました。

日本赤十字社は資金援助のほか、医薬品、生活物資、車両などの現物支援を行うとともに、医師、看護師をはじめとする医療スタッフや、ニーズ調査を行う社員の派遣を行いました。

**○災害見舞(住家)** 一宮市内において、全焼など被災された方々に必要に応じて物資をお届けしました。全焼 9 戸、半焼 4 戸 (被災者 32 人) に対して、毛布等 48 枚のほか、歯ブラシや、タオル・LED 電灯・ラジオなどが入った救急セット 15 個をお届けしました。また、亡くなられた 1 名の方のご遺族に弔慰金をお渡ししました。

**○赤十字奉仕団** 地域赤十字奉仕団は、「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」と思う人々によって市区町村ごとに組織されたグループです。

一宮市赤十字奉仕団は、市や地域の防災訓練への参加・協力をはじめ、避難所で役立つスキルの講習などを行っています。現在、9 分団 (301 名) が活動しています。

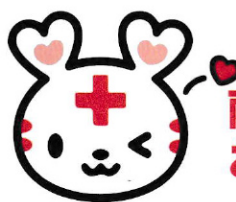


## ○市内の献血実績(令和5年)

一宮市内には、専用の献血ルームがないため、愛知県赤十字血液センターから献血バスが配車され、多くの事業所や商業施設などの会場を借りて献血が行われます。ショッピングモールな

	実施数(回)	参加人数(人)	採血本数(本)
令和3年	113	6,404	5,534
令和4年	126	6,375	5,476
令和5年	111	6,192	5,407

ど商業施設での献血の割合は、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった令和2年から大きく上昇しました。献血は、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのいのちを救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。献血バスを見かけたら、献血にご協力くださるようお願いいたします。



**献血にご協力をお願いいたします！**

## ○血液のゆくえ

### 献血の必要性

血液は、栄養や酸素の運搬、免疫など、人間の生命を維持するために欠かせない機能を持っています。現在、血液の機能を完全に代替できる手段は存在しないため、医療において輸血は欠かすことができない治療法です。みなさまの献血によって必要な血液を確保し続けなければ、現代医療は成り立ちません。

### 検査 - 血液センターにて全ての血液を検査

献血された血液は、血液センターに運ばれ、血液型検査や感染症予防のための抗原・抗体検査、献血後にお知らせする生化学検査などを行います。また、日本赤十字社は1999年（平成11年）より、血液の安全性向上を図るうえでB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）について特に有効な核酸増幅検査（NAT）を世界に先駆けて導入し、安全性向上に努めています。

### 製剤

現在の輸血医療は、必要な成分（赤血球、血漿、血小板）のみを輸血する成分輸血が主流になっています。400mL・200mL献血による血液は、各成分の比重値の差を利用して赤血球、血漿、血小板に分離されます。成分献血の場合は、献血時に血漿、血小板を分けて採取することがほとんどで分離は行いません。分離された血液は、検査結果と照合し、すべて合格した血液のみが輸血用血液製剤となります。

### 保管・供給

輸血用血液製剤や血漿分画製剤は、冷蔵庫や冷凍庫等でそれぞれの製剤に最も適した条件で保管され、医療機関から発注が入り次第、迅速に供給されます。

## ○献血バス運行スケジュール



愛知県赤十字血液センター（TEL 0561-84-1131）にお尋ねいただくか、同センターのウェブサイトですぐに「日時と献血会場」を検索できます。



令和 5 年度 一宮市地区会費・寄付金実績

連 区 名	会 費	寄 付 金	合 計(円)
宮 西	3, 000	948, 800	951, 800
貴 船	2, 000	1, 006, 300	1, 008, 300
神 山	13, 000	1, 100, 600	1, 113, 600
大 志	2, 000	528, 500	530, 500
向 山	22, 000	1, 025, 200	1, 047, 200
富 士	10, 000	766, 700	776, 700
葉 栗	0	1, 431, 900	1, 431, 900
西 成	4, 000	3, 588, 850	3, 592, 850
丹 陽 町	3, 000	2, 210, 470	2, 213, 470
浅 井 町	22, 000	2, 354, 176	2, 376, 176
北 方 町	10, 000	1, 154, 900	1, 164, 900
大 和 町	51, 000	2, 430, 193	2, 481, 193
今伊勢町	52, 000	1, 955, 700	2, 007, 700
奥 町	6, 000	819, 400	825, 400
萩 原 町	36, 000	2, 193, 800	2, 229, 800
千 秋 町	4, 000	1, 940, 080	1, 944, 080
起	5, 000	283, 340	288, 340
小信中島	0	686, 640	686, 640
三 条	49, 000	857, 140	906, 140
大 徳	0	540, 850	540, 850
朝 日	5, 000	946, 630	951, 630
開 明	5, 000	603, 160	608, 160
木曽川町	14, 000	2, 725, 500	2, 739, 500
連 区 計	318,000	32,098,829	32,416,829
特別募金	法 人 個 人 奉仕団	90,000 円 1,105,277 円 175,000 円	} 1,370,277 円
合 計	33,787,106 円		

令和 5 年 12 月 31 日現在

皆さまからの継続的なご寄付が、「いざ」という  
ときの迅速な支援や普段からの備えとなります。

令和 4 年度 一宮市地区費決算

○歳入の部

科 目	金 額
1. 県支部交付金	8,564,000
2. 雑収入	48,519
3. 繰越金	1,471,292
合 計	10,083,811

○歳出の部

科 目	金 額
1. 事務費	169,562
2. 事業費	5,397,378
(1) 需用費	2,476,868
(2) 募金費 (うち、連区助成費)	2,233,010 (2,127,960)
(3) 社員増強費	433,180
(4) 講習会費	13,320
(5) 協力団体助成費	241,000
3. 災害対策費 (うち、物資備蓄)	902,293 (586,740)
4. 災害等資金積立金	1,500,000
合 計	7,969,233

単位:円



皆さまからお寄せいただいた左の表  
の活動資金(会費・寄付金)全額を  
愛知県支部に送金しました。

一宮市地区では、県支部からの交付  
金等を収入として、地区事業を推進  
しています。

日本赤十字社一宮市地区  
一宮市栄 3 丁目 1 番 2 号  
☎ 73-0696